

5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

27

4

第十三、四年度

圖書館報

滋賀縣彦根市立圖書館

始



滋賀縣彦根市立圖書館報 (昭和十四年度)

目次

一、本館經營ノ方針ニ就テ	一頁
(一) 重大時局ト讀書修養	二
(二) 圖書館ノ眞使命達成ニツキ	二
(三) 藏書ノ整備構成	三
(四) 讀書奨励普及運動ノ實際	四
(五) 附帶事業	五
(六) 特別計畫事項	六
二、昭和十三年度ニ於ケル施設ノ概要	七
三、昭和十四年度ニ於ケル施設ノ概要	一〇
四、昭和十三年度諸統計	一三
五、昭和十四年度諸統計	一八
六、彦根市史編纂事業ト本館	二四
七、寄贈圖書及新聞雜誌	二四
八、雜報	二三
(一) 舊彦根藩弘道館藏書六百七拾六冊縣ヨリ 本館へ分讓サル	三三
(二) 紀元二千六百年記念文庫設立趣旨	三四
九、職員異動	三五
彦根市立圖書館規則	三六

彦根市立圖書館報

昭和十三、十四年度

一、本館經營ノ方針ニ就テ

從來ノ經營方針ニ則リ日新ノ時運ニ鑑ミ愈々改善ノ實績ヲ舉ゲ一層充實ヲ期スベク努力シツ、アリ。特ニ留意シツ、アル點

一、圖書館ノ眞使命確認ト計畫實施ノ周到
對象ノ調査ト藏書構成ニ充分意ヲ用フ

二、讀書普及運動ト讀書指導

アラユル機會ヲ利用シテ宣傳實施ス

一層克ク圖書館ヲ利用シ親シマル、様指導スルコト

一、婦人ノ讀書奨励

生活改善、子女教育ノ重責ヲ負フ各家庭婦人ノ自覺ヲ促シ寸暇ヲ利用シテ讀書ニ親シマシメ婦徳ノ涵養日進ノ修養ニ努

メシメントス

一、巡回文庫施設ノ充實

巡回文庫用特別圖書構成ニヨリ益々有効適切ナラシメルコト

一、紀元二千六百年記念文庫ノ設立

(別記ノ趣旨ニヨル)

一、児童及學徒ノ讀書指導



讀書修養ノ大切ナルコトヲ感得セシムル様指導ス、基礎的教養訓練ノ實施ニ努ム。

一、附帶的諸施設

時局ニ鑑ミ各方面ノ有意義適切ナル事業計畫ヲナシ適時實施スルコトニ努ム

一、郷土資料蒐集

郷土ニ關スルアラユル參考資料ヲ集メテ整理保存シ愛郷心ノ養成ト共ニ發奮教化資材トシタキ考ニテ蒐集ニ努メテ居ル尙此種參考品御發見ノ際ハ本館ヘ御知ラセテ乞フト共ニ又特ニ御寄贈ヲ願フコトヲ得バ幸甚

(一) 重大時局ト讀書修養

今ヤ我皇國ハ國ヲ擧ゲテ聖戰ニ事變處理ニ邁進シテ居ル我ガ大日本ノ文化發展ニ産業興國ニアラユル方面ニ於テ東亞ノ盟主否世界ノ覇者トシテノ貫祿ヲ示サネバナラヌ時デアアル。

カ、ル未會有ノ躍進期ニ於テ國民ハ其總力ヲ動員スルト共ニ其素地ノ啓培ヲ忽ニシテハナラナイ。此事ハ長期建設ノ段階ニ於テ一層痛切ニ感ゼラレル、此時ニ當ツテ國民ノ讀書能力ノ減退若クハ貧困ヲ來スガ如キ事ガアツテハナラナイ。宜シク國民各自ノ修養研鑽ニヨリ力強キ大國民タルノ資質向上發展ヲ期セネバナラヌ、圖書館コソハ此目的達成ノ寶庫デアアル、良キ圖書コソハ讀者ノ一人ノ強ク清イ日本國民ノ精神の傳統ヲ傳ヘ健全ナル慰安ヲ贈リ新知識ヲ供シ其心ヲ磨キ人間ヲ作り幸福繁榮ヲモタラスモノデアアル。

多忙ナル各自ノ本分ヲ完ウスル寸暇ヲ利用シ讀書ニ親シミ日夜精進努力奉公ノ至誠ヲ捧ゲナケレバナラヌ、之ガ今日ノ日本國民ノ新ナル覺悟ト信ズルノデアアル。

(二) 圖書館ノ眞使命達成ニツキ

「ドンナ問題デモ圖書館ヘ行ケバワカル」

278
47

「ドンナコトデモ圖書館デ調査研究ガ充分ニ出來ル」ト云フ風ニシタイ。

常ニ圖書ヲ讀マセテ人格ノ向上ヲハカリタイ。大イニ讀書力ヲ養成シ新知識ヲ得サシメ圖書館デ成人トシテノ完成ヲ期シタイ。此眞使命ヲ確認シテ圖書選擇上遺憾ナキヲ期シ出來得ル限り圖書館ノ整備ニ努力シテ居ル。圖書館ヘ行ケバ自然ト人格ガ磨カレルト云フ雰圍氣ニシタイ。文化ノ殿堂トシ魂ヲ磨ク場所トシ知識ノ寶庫デアアルト共ニ精神修養道場トシ精神樂園デアラシメタイ。

此意味カラ是非トモ修養道場トシテノ講堂ノ建設ヲ希フモノデアアル。

尙、各種ノ講習習教室ト小博物館ノ設備モ望マシイ。カクシテ何時タリトモ好機會ヲトラヘテ研究修養會ヲ開キ多數市民ノ修德ニ便シ彦根市將來ノ發展ニ貢獻セシメタイ念願デアアル。

(三) 藏書ノ整備構成

從來ノ藏書ヲ點檢整備スルト共ニ將來ノ藏書構成ニツキ研究考慮ノ上周到ナル計畫ヲ立テ、着々實施中デアアル。

一、知名ノ方々専門ノ方々ニ夫々備付書籍ニツキ御高見ヲ承リ參考トシタコト

一、文部省及圖書館協會推薦圖書ノ調査購入

一、優良圖書館ノ圖書目錄蒐集及視察

一、適書選擇

讀書對象關係ヲ調査シ適書選擇ニ留意ス

1. 内容ノ吟味調査ヲ綿密ニスルコト

2. 一方ニ偏セザルコト

3. 一般對象ノ要望セザル讀物調

4. 少數部門書籍ノ補充

(四) 讀書獎勵普及運動ノ實際

各學校各團體ト緊密ナル連絡ヲトリ夫々相提携シテ兒童生徒ノ讀書訓練ニ又社會一般ノ人々向上修養指導ニ努ム

一、兒童ニ對シテ

間モナク成人トシテ活動スル素地教養ト訓練トヲ重視シテ兒童讀書ヲ獎勵シ圖書館ニ親シマセル様指導スルコト
兒童ノ來館ヲ歡迎シ學年相當ニ讀書指導ヲ行フ。日曜日御話會ヲ開キ樂シク喜バセ讀書趣味ノ啓培ニ努ム

二、學徒ニ對シテ

學校教養ノ精神ト相待ツテ寸暇ヲ利用シテ讀書趣味養成ト研究調査修養指導ニ努ム

特ニ青年學校生徒ニ對シテハ每週木曜讀書指導ヲ行フ。訓練ノ日常化重視

三、男女青年團員ニ對シテ

各區役員ト連絡ヲトリ先ヅ幹部ノ人物養成ニ留意シ毎月一回幹部會ヲ開キ研究座談ニヨリ協議シ巡回文庫ノ活用ヲ圖ル

四、一般市民ニ對シテ

新刊書、適書ノ紹介ニ意ヲ用ヒ一層讀書熱ヲ向上セシムルニ努ム

特ニ婦人ニ對シテハ現下ノ時局ニ鑑ミ生活改善ノ徹底ヲ期スベク讀書修養ヲ獎勵シ幹部會ノ開催ト共ニ各區毎ニ適切ナル
方策ヲ考究實施セントス

五、店員修養會

毎月一回以上寸暇ヲ利用シ讀書指導講話ヲ行ヒ能率増進ヲ圖ラントス

六、指導階級ノ方々へ

以上ノ目的貫徹ノ爲ニハ特ニ指導階級ノ方々ノ力強キ御後援ヲ希フ次第デ各區ニ讀書會ヲ開催シ大イニ讀書趣味ノ向上ヲ
期シタイ

七、讀書相談

讀書獎勵委員トナツテ御活動ヲ願ヒタイ

成ルベク多クノ機會ニ又集會場ニ顔ヲ出シ讀書ニツキテノ相談ヲ受ケタキコト
巡回文庫ノ利用程度ノ實際モ伺ヒタシ

(五) 附帶事業

圖書館ガ社會教育ノ中心トナツテ夫々有効適切ナル事業ヲ計畫實施シタイ。

一、各種講演會、講習會

書道、支那語、繪畫、家事、其他趣味講習等

一、修養會

1. 研究座談會

特別講師ニヨリ隨時行フモノ(會員組織)

2. 修養講座

市在住名士ノ方々ニ後進者指導ノ爲ニ進ンデ講演奉仕ヲ希ヒ通俗教育講座ヲ開キタイ希望

3. 趣味會

俳句、和歌等

一、各種競技會、展覽會

1. 書畫、珠算等ノ競技會及其成績展覽

2. 各種參考品趣味展覽會

一、標語、ポスター、短文募集

隨時適當ナル題ヲ選定シテ實施ス

(六) 特別計畫事項

- 一、藏書目錄ノ刊行
主要圖書目錄ヲ作り配布シタキ考
- 一、參考物ノ刊行
 1. 各官衙、學校各團體ノ年中行事ヲ集メテ行事豫定表ヲ作り配布シ互ニ連絡提携ニ便セントスルモノ(今年其ノ第一回配付済)
 2. 其他參考トナルベキモノ、印刷
- 一、圖書館後援會ノ設立計劃
(考究中)
- 一、讀書懇談會ノ開催
有志者ノ會同ヲ求メ讀書會并ニ懇談會ヲ開催シ修養向上ヲ期シタシ
- 一、圖書館報
發行回数ノ増加
- 一、彦根史談會ノ設立

二、昭和十三年度ニ於ケル施設ノ概要

(一) 講演會、座談會

1. 氣象講演會
昭和十三年四月十日午後七時ヨリ本館階上大廣間ニ於テ彦根測候所技手坂義之氏ヲ聘シ氣象講演會ヲ開催講演終了後氣象ニ關スル質疑應答アリ、有益ナ集會デアツタ。出席者二十余名。
2. 婦人講演會
昭和十三年八月二十一日午後七時ヨリ本館階上大廣間ニ於テ藤川、楠兩先生ヲ聘シ婦人講演會ヲ開催シタ、出席者五十余名。家庭婦人トシテノ修養上又家事上非常ニ參考トナル有益ナ講演會デアツタ。
演題及講師
婦人ト「和」ノ精神 彦根高等女學校長 藤川助三先生
ス・フノ話 彦根工業學校教諭 楠 眞道先生
3. 修養座談會
昭和十四年一月九日午後五時ヨリ本館階上大廣間ニ於テ

(二) 讀書會

八木原太郎作氏外五名發起ノ下ニ西田天香師ヲ聘シ簡易ナ夕食ヲ共ニシテ修養座談會ヲ開催、出席者三十七名、席上修養會結成ノ相談ガアツタ。

昭和十三年四月二十八日午後七時ヨリ九時マテ教官引率ノ下ニ青年學校生徒讀書會ヲ開催、爾後昭和十四年三月二日マデ毎木曜日夜間東西兩青年學校生徒讀書會ヲ開催シタ、其ノ回数二十回、出席延人員七百十三名、平均一回ノ出席者三十六名デアツタ。

(三) 講習會

書道講習會
元双葉高等女學校教諭北川房次郎先生ヲ講師トシテ昭和十三年九月十日ヨリ十一月三十日マデ毎週水、土曜日、午後七時ヨリ九時マデ書道講習會ヲ開催、コノ回数十八回出席延人員二百七十二名、一回平均十五名ノ出席者デ

アツタ。

(四) 圖書館週間施設

昭和十三年十一月一日ヨリ七日マデヲ圖書館週間トシテ左ノ通りノ施設ヲ爲シタ。

1. 書道展覽會

十一月一日ヨリ五日マデ本館階上ニ於テ開催、第一部ヲ市内各中等學校生徒及高等小學校生徒作品、第二部ヲ一般作品トシ、出品點數二百五十點中カラ各中等學校習字科擔任ノ諸先生及北川房次郎先生ニ審査ヲ依頼六十四點ノ入賞作品ヲ得タ。尙開催期間中ハ非常ナ盛況ヲ呈シ入場者四千名ヲ越シタ。

入賞者

高等小學校生徒作品

(半紙) 一等 千松校 成宮美江子

外ニ二等乃至五等及佳作 十五點

中等學校生徒作品

(半折) 一等 彦商 中川芳之助

外ニ二等乃至五等及佳作十一點

(半紙) 一等 彦中 佐野孟俊

八
外二等乃至五等及佳作 二十四點

一般作品

(半折) 佳作 上片原町 岸田 彦城

三番町 藤田 白堂

(半紙) 一等 中藪町 藤田 晋平

二 等 名古屋市 山本 明

三 等 野瀬町 尾田 確一

四 等 金龜町 杉本 梅吉

五 等 上片原町 岸田英太郎

外ニ佳作 四點

2. 銃後俳句大會

昭和十三年十一月六日午後一時ヨリ本館階上大廣間ニ於テ銃後俳句大會ヲ開催、出席者二十四名、兼題「當季銃後雜詠」席題「紅葉・冬めく」各五句ヅ、出句、互選ノ結果左ノ通り

兼題 當季銃後雜詠

六點句 知らさばや植ゑて征きたる田の稔り 香雪

四點句 睡に觸るゝみな爽かに戦捷譜 藪村

突撃は夢にてありし砦かな 無垢刀

影膳や田刈じまひのあづき飯 青露

献金の落穂を拾ふ子等よこれ 野耕人

(以下略)

席題 「紅葉・冬めく」

五點句 牛鳴いて里の夕暮冬めけり 柏葉

照り曇りしきりにありぬ山紅葉 伯川

山行けば雑木紅葉の道明し 古月

四點句 冬めきて蘆の間に間に湖見ゆる 兼水

(以下略)

入賞者十名、佳作九名ニ賞品ヲ授與シ盛會裡ニ閉會シタ。

入賞者 兼題 一等 田中香雪 二等 森田薊村

三等 木島無垢刀 外

席題 一等 樋口柏葉 二等 穴戸伯川

三等 永谷古月 外

(五) 各種研究會

1. 俳句研究會

本會ハ水音吟社ト稱シ昭和七年十月以來藤川すけを先生ヲ選者トシ毎月一回研究會ヲ開催シ自治組織デアツテ會員約百名、例會出席者平均十一名尙創立以來俳誌

(六) 第三十三回海軍記念日施設

五月二十五日ヨリ同二十七日ニ至ル三日間特ニ海軍ニ關スル圖書四十四冊ヲ大閱覽室ノ一部ニ陳列シ自由ニ閱覽セシメタ。

(七) 「時」ノ記念日施設

「時」ノ記念日ノ六月十日ニハ「時」ノ記念日ト讀書ナル題ノ下ニ短文ヲ本館ヲ關ニ揭示シ一般ノ注意ヲ喚起シタ。

(八) 巡回文庫

床屋文庫、處女文庫ハ引續イテ舊村落方面ニ對シテモ利用方ヲ勸誘シ特ニ舊彦根町處女會ノ文庫取替ハ毎月一回日ヲ定メテ行ヒ時ニハ講話、座談會ヲ開イテ館長館員之ヲ指導シタ。學校文庫ハ市内遠隔ノ各小學校ニ委託シ主トシテ青年團員及處女會員ニ閱覽セシメ、會社文庫ハ市内各會社

(九) 揭示施設

後八時マデニ所屬ノ寄宿舎ニ委託閱覽ノ便ヲ計ツタ。本館揭示場及館内適當ノ場所ニ讀書獎勵標語並ニ教訓語句ヲ揭示シ新聞閱覽室ニハ各種參考資料ポスターヲ掲ゲ又表立關入口兩側ニハ新着圖書紹介函ヲ設置シテ讀者誘引ノ一助トシタ。尙各室ニ國旗ノ額ヲ掲揚シ兒童室ニハ東郷乃木兩大將ノ畫像ヲ掲ゲテ國民精神ノ發揚ニ力メ大閱覽室ニハ彦根出身ノ中村、三須兩大將ノ寫眞ヲ掲ゲテ愛郷心ノ愈旺盛ナランコトニ力メタ。

三、昭和十四年度ニ於ケル施設ノ概要

(一) 講習會

1. 支那語講習會
東亞新秩序建設ニ伴フ大陸進出者ノタメ彦根高等商業學校講師奧村義盛先生ヲ聘シテ昭和十四年六月十九日カラ七月二十一日迄毎週月火木金曜日午後六時ヨリ午

十日間支那語講習會ヲ開催、出席者延人員六百二十八名毎回平均出席者三一、四名、長谷川六二郎外三十名(内婦人三名)ニ修了證書ヲ授與シタ。
2. 入門俳句講座
一般趣味向上ノ目的達成ノ一方法トシテ俳句初心者ノタメニ昭和十四年六月二十五日カラ毎週日曜日午後七

(五) 各種研究會

1. 俳句研究會 (水音吟社)
藤川すけを先生指導ノ下ニ毎月一回研究會ヲ開催、出席者毎回平均十二名。
2. 書道研究會 (遊鷺會)
野坂周道先生御指導ノ下ニ毎水曜日開催、回数四十三回延人員八百四十八名平均出席者二十名。

(二) 讀書會

時ヨリ九時マデ彦根高等女學校校長藤川助三先生及本館書記心得岩田新藏氏ヲ講師トシテ入門俳句講座ヲ開催シタ、出席者毎回平均二十名。

(三) 時ノ記念日ポスター展覽會

六月十日、十一日兩日間本館ニ於テ時ノ記念日ポスター展覽會ヲ開催シタ。出品點數三百三十四點、入賞者一等西村美己子外五名、二等佐野和外十二名、三等山川龍男外二十三名、佳作毛利升外三十四名。

(四) 年中行事表作成配布

紀元節ノ佳節トシテ市内各團體聯絡年中行事表三百枚ヲ印刷夫々無料配布シ、以テ紀元二千六百年ノ意義深キ年ニ於ケル各團體ノ計畫實行上助カラザル便宜ヲ計ル事ガ出來タ。

(六) 讀書普及運動施設

從來ノ圖書館週間ハ本年度カラハ讀書普及運動ト改稱セラレ昭和十四年十一月一日カラ七日迄全國的ニ行ハレタ、本館ノ施設ハ左ノ通りデアル。
1. 第二回書道展覽會
十一月九日カラ十二日マデ開催入場者約三千名ニ達シ盛會デアツタ。出品總點數二百八十點内入賞作品八十點。
一般之部

- 一、條幅 (一) 漢字 一等 藤田 玉水
(二) 假名 一等 田岡 玉藻

二、半紙(一)漢字 一等 清水 七朗
 (二)假名 一等 小倉 千代

3. 五等 出世する子は圖書館通ひ 彦根市 古川芳子
 縣下中等學校圖書成績品展覽會
 十一月八日カラ十日マデ縣下中等學校圖書成績(昭和十三年分)展覽會ヲ開イタ。
 尙右ノ外日本圖書館協會發行ノパンフレット「推薦圖書」二百枚ヲ市内各學校官衛其ノ他團體及來館者ニ配布シタ。

中等學校之部
 一、條幅(一)漢字 一等 田中藤太郎
 竹中美智子
 (二)假名 一等 藤邊 幸子
 二、半紙(一)漢字 一等 佐野 孟俊
 吉田 良夫
 西崎 禮子

(七) 巡回文庫

小學校之部
 (一)假名 一等 藤邊 幸子
 (二)漢字 一等 松林スエ子

2. 第二回標語募集入選發表
 讀書又ハ圖書館ニ關スル標語ヲ募集シタトコロ應募數一千九十九點ニ達シタ、ソノ中カラ入賞五點、佳作二十六點ヲ選ビ十一月十二日コレヲ發表シタ。
 一等 汗で銀へて讀書で磨け 京都府 南澤和子
 二等 僕等に餘暇あり圖書館あり 大阪市 金谷 保
 三等 意氣で建設、讀書で興亞 横濱市 瀧 榮一
 四等 戦争は命がけ、讀書は心がけ 大阪市 田中一郎

(八) 揭示施設

揭示施設ハ前年同様。尙館内壁間ニ世界大勢要圖又ハ支那要圖ヲ掲ゲ時局認識ノ參考ニ資シタ。

四、昭和十三年度統計

(一) 藏書統計 (昭和十三年度)

部	門	和漢書	洋書	合計
〇門	總記	四、八一五	五、一三三	五、三二八
一門	宗教、哲學	二、三七九	一、三	二、三九二
二門	教育	一、四八〇	二	一、四八二
三門	文學	六、九〇六	五五	六、九六一
四門	歷史、地理、風俗	四、一二三	八二	四、二〇五
五門	政治、法律、經濟	三、一四八	三三	三、一八一
六門	社會、統計、家數	一、一八八	二二	一、二一一
七門	醫學、數學	七〇六	三三	七三九
八門	工業、海事、兵事	一、〇四四	六	一、〇五〇
九門	農業、交通、通信	九〇一	六	九〇七
御典	美術、諸藝、競技	一、三七三	六	一、三七三
合誌	紀念文庫	二八、〇六三	七六六	二八、八二九
雜誌	計誌	五、三七一	一	五、三七一
總計	計誌	三三、四三四	七六六	三四、二〇〇

(二) 昭和十三年度閱覽職業別冊數統計 (左側ハ女子)

部 門	學生	教員	神官 宗教家	記者 辯護士	醫師	軍官 公吏	實業部	會社 銀行員	兒童	無職	其他	合計
〇門 總 記	九,六六三	一,三三三	六九五	八三	五二	三〇九	三,七九六	一,一九四	五三九	一,六〇五	八八	七,六〇三
一門 宗 教、哲 學	六八九	三九	一三九	二六	三六	九六	三三	一四六	三〇	一,八八五	八八	三,七六〇
二門 教 育	九三三	二九	三二	二六	三六	三六	三三	一四六	三〇	五三一	三三	二,八四〇
三門 文 學、語 學	一四,五七四	三三	一三九	二六	三六	九六	三三	一四六	三〇	一,七七一	三三	一,五八六
四門 歷 史、地 誌、風 俗	一,七三〇	一,六五五	三〇	一五七	四	九七四	一九九	二〇八	一	一,七七一	一	七〇七
五門 政 治、法 律、經 濟 社 會、統 計、家 政	三,三三八	二〇九	三	一五七	四	八四	三,九九六	三五	一	一,三八三	一	三,三九五
六門 理 學、數 學、醫 學	三,三八四	二〇九	三	一五七	四	八四	三,九九六	三五	一	四,三〇九	一	六,五二一
七門 工 學、海 事、兵 事	一,三三五	三〇	一	一四	一	一八六	五二〇	二七	一	一,三九	一	五,〇八四
八門 產 業、交 通 通 信	一,三三五	三〇	一	一四	一	一八六	五二〇	二七	一	一,三九	一	六,五二一
九門 美 術、諸 藝、競 技	一,六二四	一八九	二八	一七	三	一七	三九〇	一六	一	三〇	一	三,四〇二

(三) 昭和十三年度中閱覽人住所別人數統計

住 所	總 計	男	女	合 計
御大典記念開國文庫				
合 計	三八,〇三二	一,〇九九	一一,一三九	五三,九三五
總 計	四二,四〇三	一,〇九九	二,一五三	七三,三六一
彦根市				
犬上郡				
愛知郡				
神崎郡				
坂田郡				
栗太郡				
蒲生郡				
東淺井郡				
伊香津郡				
大津市				
他府				
合 計	一〇〇,八二三	三〇,六〇〇	三〇,六二一	一三〇,七二二

(四) 昭和十三年度中閱覽人職業別人數統計 (左側女子)

職業	館內	館外	合計
學生	一四、二三八	一三、四三六	二七、六七四
教育家	一、〇四四	二、〇七九	三、一八三
宗家	一〇四	三六六	四七〇
辯護士、醫師、記者	三三三	四三一	六四四
軍人、官吏	四九	五六七	六一六
實業家	二、六七九	一、〇〇〇	三、六七九
銀行員、社員	四四二	一、六四七	二、〇八九
其他	一六五	一〇八	二七三
無職	七三七	二、六三三	三、三七〇
兒童	三、六〇九	一、八三二	五、四四一
合計	一三、六六七	一八、七五九	三二、四二六

(五) 昭和十三年度月別一日平均閱覽人員

月	館內	館外	合計
三月	一一五、二	六一、〇	一七六、二
四月	二〇七、四	六一、五	二六八、九
五月	二二九、〇	六五、〇	二九四、〇
六月	二六四、五	六五、〇	三二九、五
七月	二六四、五	六五、〇	三二九、五
八月	三六九、五	六七、三	四三六、八
九月	三三三、二	六二、九	三九六、一
十月	二九四、九	六〇、〇	三五四、九
十一月	一六七、三	六四、七	二四二、〇
十二月	二〇二、八	六三、四	二六六、二
十四年	一八三、〇	六一、〇	二四四、〇
合計	一、九七〇	六三三、四	二、六〇三、四

(六) 開館日數並二日平均閱覽人員 (昭和十三年度)

月	館內	館外	合計
三月	一九四、九	一一〇、一	三〇五、〇
四月	一九七、〇	一一六、三	三一三、三
五月	一九七、〇	一一六、三	三一三、三
六月	一九七、〇	一一六、三	三一三、三
七月	一九七、〇	一一六、三	三一三、三
八月	一九七、〇	一一六、三	三一三、三
九月	一九七、〇	一一六、三	三一三、三
十月	一九七、〇	一一六、三	三一三、三
十一月	一九七、〇	一一六、三	三一三、三
十二月	一九七、〇	一一六、三	三一三、三
合計	一、九四九	六一三、四	二、五六二、四

一、開館日數 二八九日
 一日平均
 一、閱覽人員 五四二、七人
 內館 二三八、二人
 館外 一八四、四人
 巡迴文庫 一二〇、一人

五、昭和十四年度統計

(一) 藏書統計 (昭和十四年度)

部	門	和漢書	洋書	合計
〇門總	總	四、九六七	五、一三三	五、四八〇
一門宗	教、哲	二、四五四	一、三	二、四六七
二門教	育	一、五二六	二	一、五二八
三門文	學、語	七、〇〇八	五、五	七、〇六三
四門歷	史、地、風	四、二三八	八、二	四、三二〇
五門社	治、法、律、經	三、二九〇	三、三	三、三二三
六門理	會、統、計、家	一、二三一	二、三	一、二五四
六門	學、醫、數			
合計		二二、七一九	七、六六	三〇、四八五

(二) 昭和十四年度職業別閱覽冊數統計 (左側ハ女子)

部	門	學生	教員	神官	記者	醫師	軍官	官吏	實業家	會社	銀行	社員	兒童	無職	其他	合計
〇門總	記	七七一	二二五	六二	六	一五	一五	四四五	四四五	一三	一三	一三	四三、二七	二二	四四五	四三、二七
一門宗	教、哲	八二五	四七	二九	九	三	三	二八三	二八三	一〇	一〇	一〇	一八、八三九	二	二八三	一八、八三九
二門教	育	六五五	三三	一九	三	一	一	九	九	一	一	一	一	一	九	一
三門文	學、語	一、五、三八四	一八六	一〇六	三三九	一、五、五〇	一、五、五〇	二、八四四	二、八四四	六	六	六	二、四三三	二、三三七	六八三	二、七六七
四門	歷史、地誌、風俗	三、三〇八	二、六四二	一、五七	一、五	一、五	一、五	五、三	五、三	一八	一八	一八	一	一	四六三	五、三三三
合計		三、三〇八	二、六四二	一、五七	一、五	一、五	一、五	五、三	五、三	一八	一八	一八	一	一	四六三	一、一三五

(三) 昭和十四年度職業別閱覽冊數統計 (左側ハ女子)

部	門	學生	教員	神官	記者	醫師	軍官	官吏	實業家	會社	銀行	社員	兒童	無職	其他	合計
〇門總	記	七七一	二二五	六二	六	一五	一五	四四五	四四五	一三	一三	一三	四三、二七	二二	四四五	四三、二七
一門宗	教、哲	八二五	四七	二九	九	三	三	二八三	二八三	一〇	一〇	一〇	一八、八三九	二	二八三	一八、八三九
二門教	育	六五五	三三	一九	三	一	一	九	九	一	一	一	一	一	九	一
三門文	學、語	一、五、三八四	一八六	一〇六	三三九	一、五、五〇	一、五、五〇	二、八四四	二、八四四	六	六	六	二、四三三	二、三三七	六八三	二、七六七
四門	歷史、地誌、風俗	三、三〇八	二、六四二	一、五七	一、五	一、五	一、五	五、三	五、三	一八	一八	一八	一	一	四六三	五、三三三
合計		三、三〇八	二、六四二	一、五七	一、五	一、五	一、五	五、三	五、三	一八	一八	一八	一	一	四六三	一、一三五

(四) 昭和十四年度職業別人數統計 (左側ハ女子)

職業	神	坂	滋	栗	甲	野	蒲	東	伊	高	大	他	合
職業	崎	田	賀	太	賀	洲	生	香	島	津	府	計	
學	一三六	四一七	二七	一	一	一	二	二	三	三	五	二六	八五、七〇〇
教	一三六	四一七	二七	一	一	一	二	二	三	三	五	二六	八五、七〇〇
育	一三六	四一七	二七	一	一	一	二	二	三	三	五	二六	八五、七〇〇
業	一三六	四一七	二七	一	一	一	二	二	三	三	五	二六	八五、七〇〇
生	一三六	四一七	二七	一	一	一	二	二	三	三	五	二六	八五、七〇〇
家	一三六	四一七	二七	一	一	一	二	二	三	三	五	二六	八五、七〇〇
館	一三六	四一七	二七	一	一	一	二	二	三	三	五	二六	八五、七〇〇
內	一三六	四一七	二七	一	一	一	二	二	三	三	五	二六	八五、七〇〇
外	一三六	四一七	二七	一	一	一	二	二	三	三	五	二六	八五、七〇〇
合	一三六	四一七	二七	一	一	一	二	二	三	三	五	二六	八五、七〇〇
計	一三六	四一七	二七	一	一	一	二	二	三	三	五	二六	八五、七〇〇

(三) 昭和十四年度閱覽人住所別人數統計

住所	五門	六門	七門	八門	九門	御大典記念開國文庫	合	雜	總
住所	政治、法律、經濟、社會、統計、家政	理學、數學、醫學	工學、海軍、兵事	產業、交通、通信	美術、諸藝、競技				
住	一、三五四	三、二一八	一、六七四	一、二五六	一、五二六		二九、六五一	五、六六七	四〇、八九九
所	一、三五四	三、二一八	一、六七四	一、二五六	一、五二六		二九、六五一	五、六六七	四〇、八九九
愛	一、三五四	三、二一八	一、六七四	一、二五六	一、五二六		二九、六五一	五、六六七	四〇、八九九
犬	一、三五四	三、二一八	一、六七四	一、二五六	一、五二六		二九、六五一	五、六六七	四〇、八九九
彦	一、三五四	三、二一八	一、六七四	一、二五六	一、五二六		二九、六五一	五、六六七	四〇、八九九
住	一、三五四	三、二一八	一、六七四	一、二五六	一、五二六		二九、六五一	五、六六七	四〇、八九九
知	一、三五四	三、二一八	一、六七四	一、二五六	一、五二六		二九、六五一	五、六六七	四〇、八九九
上	一、三五四	三、二一八	一、六七四	一、二五六	一、五二六		二九、六五一	五、六六七	四〇、八九九
根	一、三五四	三、二一八	一、六七四	一、二五六	一、五二六		二九、六五一	五、六六七	四〇、八九九
郡	一、三五四	三、二一八	一、六七四	一、二五六	一、五二六		二九、六五一	五、六六七	四〇、八九九
市	一、三五四	三、二一八	一、六七四	一、二五六	一、五二六		二九、六五一	五、六六七	四〇、八九九
計	一、三五四	三、二一八	一、六七四	一、二五六	一、五二六		二九、六五一	五、六六七	四〇、八九九
男	一、二八八	三、〇〇〇	一、五〇〇	一、二〇〇	一、四〇〇		二八、〇〇〇	五、〇〇〇	三九、〇〇〇
女	一、〇六六	二、二一八	一、一七四	一、〇五六	一、一二六		二一、六五一	五、六六七	三〇、八九九
計	二、三五四	五、二一八	二、六七四	二、三五六	二、五二六		四九、六五一	一〇、六六七	七〇、八九九

宗 教 家	記 者、醫 者、辯 護 士	官 公 吏、軍 人	實 業 家	銀 行、會 社 員	其 他	無 職	兒 童	合 計	總 計
二二二	五一	三九〇	二、五八二	二六五	一一八	一九四	三二八	一、一三三	六四、一四〇
五七四	六五六	二、四二九	四、七二八	二、二二九	八九二	一、一三七	一〇、〇五三	三六、二五四	五〇、二二五
八〇六	七〇七	二、八一九	七、三一〇	二、四九四	一、〇一〇	四、三三二	一八、八二九	八五、七〇〇	一一四、三六五

(五) 昭和十四年度月別一日平均閱覽人員

四月	館 內	館 外	巡 回 文 庫	合 計
一八七、四	一四九、三	一七〇、一	五〇六、八	五〇六、八

五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三年	二	三
一九一、六	二六六、三	二二九、五	三五〇、一	二八五、二	二三〇、五	一七三、五	一八一、六	一五四、〇	一六八、三	一九五、八
二二六、九	一四二、六	一五八、八	一六七、五	一六三、七	二六一、七	一九四、一	一九五、三	一九三、八	一六六、六	一七五、九
一六八、〇	一六五、三	一六七、三	一三六、九	一八〇、三	一九三、〇	一七〇、一	一七二、三	一六三、五	一六〇、〇	一五三、〇
四八六、五	五七四、二	五五五、六	六五四、五	六二九、二	六八五、二	五三七、七	五四九、二	五一一、三	四九四、九	五二四、七

(六) 昭和十四年度開館日數並一日平均閱覽人員

一、開館日數	二、一日平均閱覽人員
二九二日	五五八、三人
館 內	二一七、八人
館 外	一七三、九人
巡 回 文 庫	一六六、六人

六、市史編纂事業ト本館

彦根市史編纂事業ハ大體ニ於テ資料ノ蒐集ヲ終ツタノデ中川編纂主任ノ手ニ依リ既成市史原稿ノ内容、順序等ノ訂正加筆ヲ進メラル、ト共ニ未完ノ教育篇ヲ編纂委員北村金吾氏ニ依囑、軍事篇ヲ本館ニ於テ資料ノ補充蒐集ニ當リ昭和十四年初冬漸ク完了シタ、此間中村一形氏逝去ノ後ヲツイデ北野源治氏館長ニ就任セラル、ト共ニ市史編纂事務主幹トシテ熱心ニ盡力セラレ又多年本館書記ハ司書トシテ編纂事業特ニ資料探訪ニ盡瘁セラレタ前田英一氏ガ退職セラレタ。

昭和十四年十二月二十三日北村委員、北野事務主幹、岩田書記ノ三名坂田郡柏原村大字大野本ノ中川主任方ニ赴キ市史原稿全部ノ受領ヲ了シ本館ニ保管スルコト、ナツタ。尙兼テカラ病氣御静養中デアツタ中川主任ハ昭和十四年十二月二十七日午後六時逝去セラレタ、悼惜ノ至リデアアル。

七、寄贈圖書及新聞雜誌

昭和十三、四年度 (敬稱省畧)	寄贈者	寄賜者
職 仁 親 王 行 實	高松宮家	前田侯爵家
織 仁 親 王 行 實	同	同 尊經閣文庫
詔 仁 親 王 行 實	同	同
有栖川宮 選 獎 錄 第六輯	同	同
記念厚生資金 第七輯	高松宮事務所	帝室林野局
加賀藩史料 第十二編	尊經閣文庫	同
尊經閣文庫加越能文獻書目	同	同
尊經閣文庫國書分類目録	同	同
御 料 地 史 稿	同	同
ひのき分布考	同	同

昭和十三、四年度 (敬稱省畧)	寄贈者	寄賜者
ひのき分布考資料	帝室林野局	臺灣總督府文教局
帝室林野局五十年史	同	滋賀縣水産試験場
全國公立私立中學校ニ關スル諸調査 外參拾八冊	文 部 省	兵庫縣 學 務 部
拓務省圖書總目録	拓 務 省	市立函館圖書館長
昭和十一年度拓務統計	同	同 岡田健藏
昭和十二年度拓務統計	同	同 日本圖書館協會
昭和十三年度拓務要覽	同	同
人口動態統計 外三冊	内 閣 統 計 局	同 東京帝國大學附屬圖書館
北海道樺太年鑑 (昭和十四年版 昭和十五年版 昭和十六年版)	樺 太 廳	同 大垣市立圖書館
ビルゼンビルとソコル運動の國 外三冊	外務省文化事業部	同 奈良縣立奈良圖書館
帝國及列國の陸軍	陸軍省情報部	同
聖戰二年有半の回顧	同	同 實塚文藝圖書館
列國海軍の情勢 外十冊	海軍省海軍人事部	同 大阪市立御藏跡圖書館
昭和十一年滋賀縣統計全書外十五冊	滋賀縣學務部	同 西宮市立圖書館
暗渠排水事業ニ關スル調査	同 經濟部	同 岩手縣立圖書館
昭和十三年度穀物検査事業報告 第九號	滋賀縣穀物検査所	同 兵庫縣圖書館協會
標準用語集 電氣用語ノ部	滋賀縣警察部	同 富山市立圖書館
我邦に於ける簡易保險積立金の運用に依る自作事業	保險院簡易保險局	同 樺太廳圖書館
昭和六年度及昭和七年度簡易生命保險ノ死亡率ニ關スル調査	同 總務局	同 滿鐵哈爾濱圖書館
臺灣學事一覽 (昭和十三年版 昭和十四年版 昭和十五年版)	臺灣總督府文教局	同
醒井養鱒場 外三冊	滋賀縣水産試験場	同
青年讀物案内 第十輯 外二冊	同	同
初代渡邊孝平傳 外四冊	同	同
良 書 百 選 第七輯	同	同
日本圖書館協會講演集 第四輯	同	同
東京帝國大學和漢圖書目錄外二冊	同	同
大垣市立圖書館報	同	同
奈良縣立奈良圖書館月報	同	同
奈良縣圖書館協會報	同	同
寶塚文藝圖書館月報	同	同
更 張	同	同
西宮市立圖書館報	同	同
岩手縣立圖書館圖書目錄	同	同
青年讀物案内 第九輯	同	同
富山縣中央圖書館報	同	同
圖書館とはどんな所か 外四冊	同	同
哈爾濱圖書館ノ聯邦圖書館事情(一) 叢刊第二號	同	同

書 支那回教文獻目錄
 東京誌料圖書目錄 外二冊
 石川縣中央圖書館月報
 圖書館案內
 京都府中央圖書館報
 四日市圖書館報
 藏書特種目錄 第一輯
 支那、滿洲、蒙古
 東京女子高等師範學校
 第六臨時教員養成所 一覽
 山岡博士教授紀念文集二冊
 二十五年
 彥根高等商業學校一覽
 東京慈惠會醫科大學一覽
 第四高等學校一覽
 人間大隈重信
 國民工業學院
 京都帝國大學新聞
 彥根
 昭和十四年度滋賀縣立彥根中學校
 一覽 外二冊

滿鐵大連圖書館
 同
 東京市立日比谷圖書館
 石川縣立圖書館
 台南市立台南圖書館
 京都府中央圖書館
 四日市圖書館
 上海日本近代科學圖書館
 東京女子高等師範學校
 日本大學
 彥根高等商業學校
 東京慈惠會醫科大學
 第四高等學校
 早稻田大學
 國民工業學院
 京都帝國大學友會
 新開部
 滋賀縣立彥根中學校
 同

同窓會誌
 同窓會誌
 國學院大學一覽
 五高五十年史
 昭和醫學專門學校案內
 東京高等學校一覽 第十六
 女子流著作解題
 海外少年赤十字彙報 四十六輯
 勢陽論叢 第二輯 外二冊
 同窓會報 第二十六號
 芹江餘流 外二冊
 橫濱專門學校★則拔萃
 公立岐阜藥學專門學校入學案內
 東京藥學專門學校女子部概覽
 東北帝國大學一覽
 (十三年、十四年度)
 大阪外國語學校一覽 十四年度
 日本醫科大學一覽
 上智大學★則

滋賀縣立彥根中學校
 同窓會
 滋賀縣立彥根商業學校
 國學院大學
 第五高等學校
 昭和醫學專門學校
 東京高等學校
 女子學習院
 彥根尋常高等小學校
 神宮皇學館
 第四高等學校
 滋賀縣立彥根工業學校
 橫濱專門學校
 公立岐阜藥學專門學校
 東京藥學專門學校
 東北帝國大學
 大阪外國語學校
 日本醫科大學
 上智大學

京都高等工藝學校一覽
 目黒無線工學校一覽
 昭和十四、十五年曆
 始政四十周年紀念台灣博覽會誌
 同 台灣博覽會協議會誌
 砂防を語る
 昭和十二年度遊就館年報
 滋賀縣立彥根高等女學校五十年史
 外二冊
 滋賀縣社會教育
 滋賀縣氣象年報 昭和十三年度
 外二冊
 氣象月報
 淡海神國
 彥根市職員錄
 犬上郡職員錄
 Japan today & tomorrow
 北海タイムス年鑑
 第十期業務報告書
 滋賀縣犬上郡郷土史讀本
 小學教材郵便爲替貯金 外四冊

京都高等工藝學校
 目黒無線工學校
 滋賀縣神職會彥根支部
 始政四十周年紀念 台灣博覽會
 同 會長松本幹一郎
 慶尚北道廳
 遊就館
 滋賀縣立
 彥根高等女學校
 滋賀縣社會教育會
 彥根測候所
 同
 滋賀縣神職會
 彥根日報社
 大阪毎日新聞社
 北海タイムス社
 滋賀銀行彥根支店
 犬上郡教育會長
 彥根郵便局

青年徒步旅行昭和一三版外九冊
 觀光ニユース
 男爵團琢磨傳 上下
 英傑群像 外二十七冊
 望洋吟 艸
 入學試驗問題詳解續篇
 現行兵事法令類纂 二冊
 小學生劍道讀本
 中等學生劍道讀本
 國勢の伸展と學校増設
 眞境華集
 近江彥根城天守建築考
 揭示資料 學校新聞 外三十五冊
 三溪百艘出入覺書 外九冊
 湯島聖堂 儒道大會誌
 復興記念 儒道大會誌
 白蓮庵詩鈔
 木下尚江翁尺牘
 第二六山人句集
 安本吉次郎追想錄

彥根驛長
 同
 故園男爵傳記編纂委員會
 手良村勝次郎
 石川かろ
 歐文社
 大谷仁兵衛
 中村一形
 熊平源藏
 水上温之
 城戸久
 村林重三
 平田保三
 斯文會
 蓮井知城
 青木吉藏
 水野吉藏
 安本吉次郎

若者制度の研究 外二十一冊
 元イマン居留民會長 腹部富造君
 江南の散華 吉田作平軍曹
 大和民族と本然自教 郷
 能樂隨想 外二冊
 新説文大字典 十冊
 外より見たる郷土地理教育資料
 大阪朝日新聞二萬號 記念外三冊
 松本 留 吉
 木下尚江翁語錄 第一卷
 現代服飾讀本 外二冊
 女性 勅使農場と今尊徳 井上眞冽翁
 日本製糸法 外二冊
 富田流手あて療法
 江木 翼 傳 外二冊
 遊澤 榮 一 傳
 歸り 花

彦根青年團有志
 西川 太 治 郎
 吉田 太 治 郎
 近藤 常 治
 板倉 勝 忠
 小林 幸 太 郎
 岡崎 諱
 田中 貞 一
 小林 榮 太 郎
 松本留吉翁傳記 編輯委員會
 青木 隆 吉 藏
 關 隆 治
 井上 俊 子
 山本 件 二 郎
 富田 魁 二
 江木翼君傳記編輯會
 遊澤青淵翁記念會
 五老井今居春亭

論語私見 上下
 上野公園グラウンド記念樹
 黎明日本の一開拓者
 父錦木藤三郎の一生
 御歌所の研究
 海軍被服地の原價計算に就て
 書道全集外書道關係圖書三十五冊
 岸 清 一 傳
 旅行叢書 印 度 旅 行
 第十卷 晴 閣 詩 鈔
 藤山 雷 太 傳
 藤山 愛 一 郎
 櫻根 孝 之 進
 熊谷 五 右 工 門
 六 雄 慶 哉
 松 井 彌 七
 淺 野 陽 吉
 三 須 精 一
 川 潮 廣 司
 西 田 天 香
 空の忠靈 塔外五冊
 林田正助翁の教訓 外二冊
 中外財界
 大 乘
 新田 精 神 外二冊
 新田 精 神 外二冊
 空の忠靈 塔外五冊
 につぼん 昭和十四年六月創刊號
 光 昭和十四年五月號 外二冊

松村 末 吉
 池田 次 郎 吉
 鈴木 五 郎
 恒川平一還曆 記念刊行會
 前川 宗 太 郎
 北川 房 次 郎
 岸 同 門 會
 秋 守 常 太 郎
 藤 田 彈 次 郎
 藤 山 愛 一 郎
 櫻根 孝 之 進
 熊谷 五 右 工 門
 六 雄 慶 哉
 松 井 彌 七
 淺 野 陽 吉
 三 須 精 一
 川 潮 廣 司
 西 田 天 香

俳句新聞
 聖戰下の支那を旅して
 青年佛教概説 修行者と羅刹解説
 彦根市職員錄 第十四、五卷
 犬上郡 職員錄 第十四、五卷
 雙 烈 聯 芳
 米國の極東政策 外二冊
 大 相 告 書
 牧野元次郎氏の銀行取付論外三冊
 御誓文謹解 外十五冊
 少年滿洲讀本
 十 年 史
 東京火災保險株式會社五十年史
 御本尊 問 題 明 辨
 御遺文 問 題 明 辨
 普 勸 坐 禪 儀
 帝國教育 第七二五號 三冊
 日滿支經濟懇談會報告書
 皇紀二千六百年記念出版
 水無瀬山崎附近 外二冊
 御醍醐天皇御關係
 十五官幣社御祭神御神徳記

木 島 茂
 若 林 乙 吉
 竹 中 慧 照
 水 波 廣
 林 正 義
 小林 順 一 郎
 西崎 金 三 郎
 不動貯金銀行
 國民精神文化研究所
 大阪鮮滿案內所
 日本航空輸送株式會社
 東京火災保險株式會社
 信 人 社
 安田信託株式會社
 帝國教育會
 日滿中央協會
 京阪電氣鐵道株式會社
 湊 川 神 社

滿洲都市沿革考
 國司 浩 助 氏 論 叢
 軍國之母の姿 外四冊
 彦根基督教會略史
 正義は遂に勝てり
 子の願ひ
 イ ン キ 讀 本
 創業五十年史
 海 防 史
 金 光 徒
 金 光 徒
 湖 會 時 報
 日本カトリック新聞
 ク リ チ ッ ク 新 聞
 日本讀書新聞
 中部日本婦人聯盟
 電 氣 旬 報
 電 氣 旬 報

滿鐵總裁室弘報課
 日本水産株式會社
 國民精神總動員 中史聯盟
 彦根基督教會
 秀文閣書房
 三好堂印刷所出版部
 篠原インキ製造 株式會社
 塚本商事株式會社
 海 防 義 會
 金 光 徒 社
 金光教青年會聯合本部
 教會時報社
 彦根基督教會
 彦根天主公會
 クリチック社
 日本讀書新聞社
 中部日本婦人聯盟
 電 氣 旬 報 社

商工行政	三月號	商工行政社	日本兒童	十月號	文昭社
財殖獎勵館	政五月號	彦根稅務署	新亞細亞	和十月號	滿鐵東亞經濟調查局
明日のブラジル	第一卷第一、二、三號	拓殖獎勵館	防空事情	創刊號	大日本防空協會
日本橋壽老會	紀念誌	立憲政友會	音樂教育研究	十月號	大阪中央放送局
康德五年度業務報告書	奉天商工會	日本橋壽老會	放送事業案	内外三冊	東京市役所
奉天商工會	華文大坂	同	市政週報	報	防共文化社
無藥時代	六月號	大阪每日新聞社	オトモダチ	(日滿親善繪讀本)	おともだち發行所
東洋文化	第一七四號	東京指壓法學會	第一住宅	滿洲	滿洲鐵工技術員協會
狩獵界の	獵銃操作法定義	東洋文化學會	塗料の研究	報	第一相互住宅株式會社
過失防止と	獵銃操作法定義	生田茂商店	新大陸	二月號	關西ベイント株式會社
勞働時報	選舉肅正中央聯盟	厚生省勞働局	實業教育の指針	二月號	台灣總督府情報部
選舉肅正時報	大阪時事新報社	愛國學生聯盟	文具界	社	新大陸發行所
旬刊時事特輯	第廿六、廿七號	愛國學生聯盟	シベリヤ日記	(榎本武揚著)	大阪實業協會
愛國學生	七月號	教育國防社	機械工學年鑑	(十四年版)	文具界社
月刊の教養	五月號	教育國防社	Peace among the Nation		南滿洲鐵道株式會社
教育國防	第八五號	教育國防社			日本機械學會
					Ferdinand Hansen

彦根	每夕新聞	彦根每夕新聞社	昭和新報	知開報	昭和新報社
淡海	日々新聞	淡海日々新聞社	滋賀報	知開報	滋賀報知社
彦根	日報	彦根日報社	サンプデー	朝日	荒賀新聞舖
江州	每日新聞	江州每日新聞社	週刊朝日	日	松井新聞舖
家庭新聞	新聞	家庭新聞社			

八、雜報

(一) 多年ノ宿題解決

彦根藩時代ニ弘道館ニテ版木ヲ起シテ刊行シ藩ノ士弟ヲ教養セシ漢籍及彦根藩藏書ハ廢藩置縣ノ際、悉ク縣ニ納付シタモノデ、其後縣ハ師範學校ノ管理ニ屬セシメタノデアリマス、然ルニ之等ハ我彦根市ニトリテハ實ニ意義深キ書籍ニシテ先人ノ苦心ノ徳ビ市民教育ノ資トシテノ好參考書ナルヲ以テ何トカシテ其一部ヲ本館ニ分譲サレ度懇望ヲ多年申出中デアリマシタガ、昨年來數度、縣ト師範學校トニ願出デ交渉ヲ重ネテ漸ク今回特別ノ御配慮ニヨリ左記ノ貴重ナル書籍ヲ無償分

讓ノ恩典ヲ受ケ本館藏書トナリタルハ誠ニ喜バンク茲ニ御報告申上マス。	左傳輯釋	二一冊
	五經集注	五七冊
	春秋左氏傳校本	一五冊
	漢書評林	五〇冊
	十八史略	七冊
	大日本史	一〇〇冊
	古事記傳	四八冊
	續日本紀	二〇冊
	水鏡	三冊

資治通鑑	一四八冊
四書日講解義	二六冊
佩文韻府	一〇〇冊
唐宋八家文選讀本	一六冊
和漢三才圖會	六五冊
以上	計六百七十六冊

(二) 紀元二千六百年記念文庫設立趣旨

輝々皇紀二千六百年ノ意義深キ年ニ當リ感激感佩措ク
能ハザル所ノモノハ、生ヲ我が大日本帝國ニ享ケ鴻大
無邊ナル聖恩ニ浴スルノ幸福デアリマス、時局ハ正ニ
超非常時、我々日本人ハ須ラク舉國一致、萬民一體ト
ナツテ益々日本精神ノ顯現ニ努メ、全世界人類ノ指導
者トシテノ大國民タル資質向上ニ、一段ノ精進努力ヲ
致スベキノ秋デアリマス。其ノ修養ノ道ハ多岐多様デ
アリマセウガ、最モ簡易ニシテ又最モ効果アルハ讀書
修養ニアリト信ジマス。
而シテ各方面ニ亘リ豊富ナル書籍、讀物ノ準備ノ緊要
ナルコト勿論デアリマス。
現下ノ重大時局ニ鑑ミ兼テ讀書普及運動ヲ強調シ來リ

三四
タル本館ハ千載一遇ノ祝福スベキ年ヲトシテ圖書館使
命達成ノ爲、記念文庫ヲ設立セントスルデアリマス
即チ人生一代ノ記念スベキ冠婚葬祭、其ノ他アラユル
機會ニ於テ記念トシテ篤志者ノ御芳志御寄附ヲ仰イデ
充實ヲ圖リ、之ヲ永久ニ傳ヘテ世道人心ノ啓發ノタメ
善用指導ノ資ト致シテキ考デアリマス。希クバ大方ノ
諸賢、此ノ企ニ對シ御贊同御援助ヲ賜ハラントラ。
從來本館ニハ巡回文庫用トシテノ特別書籍ナキ爲、一
般閱覽者ニ少カラヌ不便ヲ與ヘテ來タノデアリマスガ
此ノ際記念文庫ヲ特設シ廣ク各方面ニ巡回セシメタイ
念願デアリマス。
何卒、時局柄經費ヲ節約シ此ノ意義アル計畫ニ御贊同
下サレ、タトヒ一冊ノ書籍タリトモ御寄贈下サル、ナ
ラバ之ニヨリテ受クル感化教化ノ効果甚大ニシテ本市
文化發展ノ爲且ハ東亞新秩序建設ノ爲、少カラズ御貢
獻下サルコトナルト信ジマス。
御寄贈ノ書籍ハ御指定ノモノニテモ又本館ニ御一任下
サレテモ宜シク、漸次完備シテ以テ設立ノ趣旨ヲ達成
致シタイ考デアリマス。

御願

自分ガ讀ンデ參考トナリ修養トナツタ書籍一冊ヲ圖書館ニ御
寄贈下サルト夫ガ多人数ニ讀マレテ大ニ役立つコトニナル。

九、職員異動

- 昭和十三年六月五日 司書筒川敏夫氏退職、同日前田英一
氏書記心得ヲ免ゼラレ
司書ニ就任。
- 昭和十三年八月十日 福山源一郎氏書記心得トシテ新任。
- 昭和十三年八月卅一日 書記心得赤田操氏退職、同日宇津木
辰氏書記心得トシテ新任。
- 昭和十四年三月十五日 館長心得中村一形氏逝去。
- 昭和十四年四月八日 彦根市長木島茂氏館長事務取扱ヲ命

カ、ル奇特者ガ十人寄レバ十冊、百人、千人、万人ト集ル
ト効果ハ甚大デアル。
今年コソ此意義深キ催計劃ヲ實現セシメタイト希フモノ、
何卒、御共鳴、御後援ヲ乞フ

- 昭和十四年五月十一日 司書前田英一氏退職。
ゼラル。
- 昭和十四年五月十二日 北野源治氏司書心得トシテ新任。
- 昭和十四年十月卅一日 木島茂氏依頼館長事務取扱ヲ免ゼラ
レ同日司書心得北野源治氏館長心得
ニ就任。
- 昭和十五年三月卅一日 岩田新藏氏書記心得ヲ免ゼラレ同日
司書ニ就任。

彦根市立圖書館規則

- 第一條 本館ハ博ク圖書記録新聞雜誌等ヲ蒐集シテ公衆ノ閱覽ニ供シ兼テ附帶事業トシテ社會教育ニ關スル種々ノ施設ヲ爲シテ地方文化ニ貢獻スルヲ以テ目的ス
- 第二條 本館ニ左ノ職員ヲ置ク
館長 一名
司書 一名
書記 若干名
- 第三條 前項ノ外必要ニ應ジ事務員ヲ置クコトヲ得
- 第四條 館長ハ館務ヲ總理シ所屬職員ヲ統督ス
- 第五條 司書ハ圖書記録ノ整理保存及閱覽ニ關スル事務ニ從事シ館長事故アル時ハ其職務ヲ代理ス
- 第六條 書記並ニ事務員ハ館長ノ命ヲ受ケ庶務ニ從事ス
- 第七條 本館ノ圖書ヲ閱覽セントスル者ハ本館並ニ別ニ定ムル閱覽心得ヲ遵守スベシ
- 第八條 本館圖書ノ閱覽ハ無料トス
- 第九條 但シ特別ノ施設ニ對シテハ閱覽料ヲ徵收スルコト

- 第十條 本館圖書ノ閱覽ハ左記圖書ヲ除キ別ニ定ムル規程ニ依リ館外貸出ヲナスコトアルベシ
貴重ナル圖書 新着圖書 辭書類 繪畫圖表類 教科參考書 大冊物及非賣品 新聞雜誌官公報類 希望者多數ノモノ 委託圖書
- 第十一條 本館ハ私人又ハ團體ヨリ委託セントスル圖書ハ有益ト認ムルモノニ限り之ニ應ズルコトアルベシ
- 第十二條 本館ハ有益ト認ムル圖書ノ寄贈ヲ受クルコトアルベシ
- 第十三條 前二條ニ依ル圖書ノ送料ハ特別ノ場合ヲ除キ寄贈者又ハ委託者ノ負擔トス
- 第十四條 本館ニ於テ委託ヲ受ケタル圖書ハ別段ノ契約アル場合ノ外本館所藏ノ圖書ト同様ニ取扱フモノトス
- 第十五條 委託圖書ニシテ火災盜難其他不可抗力ニ依ル損害ヲ受クルコトアルモ本館ハ其責ニ任ゼズ
- 第十六條 本館ニ於テ必要ナル細則ハ館長之ヲ定ム
- 第十七條 本館ニ於テ必要ナル細則ハ館長之ヲ定ム

圖書閱覽細則

- 一、館内閱覽心得
- 第一條 館内ニ於テ圖書ヲ閱覽セントスル者ハ閱覽用紙ニ指定事項ヲ記入シ閱覽證ト共ニ圖書ヲ受取ルベシ
- 第二條 男子ノ閱覽人ハ普通閱覽室女子ノ閱覽人ハ婦人閱覽室特待者又ハ特ニ館長ノ許可ヲ受ケタル者ハ特別室兒童ハ兒童閱覽室ニ於テ閱覽スベシ
- 第三條 同時ニ借覽シ得ベキ圖書ハ兒童ハ一冊其他ハ三冊以内トス
- 第四條 但特待者ハ此限ニアラズ
- 第五條 閱覽室ニ於テハ音讀談話喫煙飲食其他喧騒ノ行爲ヲ許サズ
- 第六條 閱覽者ハ圖書ノ轉貸ヲナスベカラズ
- 第七條 圖書ヲ粉失毀損若クハ汚損シタル者ハ相當辨償ノ責ニ任ズベキモノトス
- 第八條 圖書ノ閱覽ヲ終リタルカ若クハ閉館時限ニ達シタル時ハ直チニ閱覽證ヲ添附シ圖書ヲ返納スベシ
- 第九條 新聞雜誌ハ當該備付ノ室ニ於テ隨意閱覽スルコト

278
47

ヲ得閱覽後ハ正シク原位置ニ復セシムベシ
但特殊雜誌ノ閱覽ハ第一條ノ手續ヲナスベシ
第九條 本館ノ圖書ヲ閱覽セザル者又ハ閱覽心得ヲ遵守セザル者ハ館内ニ在ルコトヲ禁ズ

一、館外閱覽心得
第十條 彦根市在住ノ者ニ限り本館圖書ノ館外帶出ヲ許ス
帶出希望者ハ所定ノ手續ヲ經テ帶出票ヲ受取ルベシ

第十一條 本館圖書ヲ館外ニ帶出セントスル者ハ帶出票ニ指定事項ヲ記入シ帶出票ト共ニ圖書ヲ受取ルベシ

第十二條 同時ニ帶出シ得ベキ圖書數ハ一冊ヲ常例トシ帶出

期間ハ一週間以内トス 但シ團體トシテ帶出セントスル場合ノ冊數並ニ期間ハ其都度之ヲ定ム
第十三條 帶出期限至ルモ返納セザル時ハ督促ニ要スル費用ヲ徴シ爾後閱覽ヲ拒絕スルコトアルベシ
第十四條 閱覽圖書ハ鄭重ニ取扱ヒ萬一毀損又ハ亡失シタル時ハ相當辨償スベシ

第十五條 帶出圖書並ニ帶出票ハ他人ニ轉貸スルコトヲ得ズ

第十六條 借覽人並ニ保證人住所ヲ變更シタル時又ハ圖書並ニ帶出票ヲ亡失シタル時ハ直チニ本館ニ届出ツベシ

昭和十五年七月十五日印刷
昭和十五年七月二十日發行

(非賣品)

彦根市立圖書館内
編輯兼 發行所 岩田新藏
彦根市五番町六二ノ一
印刷者 村下斯朗
彦根市五番町六二ノ一
印刷所 村下印刷所
彦根市四番町
發行所 滋賀縣彦根市立圖書館
電話六四九番

終

